



発行／社会福祉法人一羊会
事務局／〒六六三十八二四一 西宮市津門大塚町一丁目七 電話(〇七九八)三二一七六〇 FAX〇七九八三二一七六三

一羊会だより



一羊会ホームページ
へはこちらから



理事長就任の挨拶

理事長
古川 勝



この度、一羊会理事長を拝命いたしました。責任の重さに強いプレッシャーを感じつつも、歴代理事長の方々に恥じぬよう、全力で職務に取り組んでまいります。この場をお借りして、私自身の経験や思いを少しでもお伝えできればと思います。

自分は一貫した信念を持つタイプではありません。むしろ、経験を通して変化を続けてきたと感じています。

福祉の業界に携わり、早いもので35年以上が経ちました。措置制度の時代から障害者総合支援法まで、福祉の変遷を長きにわたって見てきました。時代の流れに翻弄されることもありましたが、その変化に適応してきたことが、現在の自分を形成していると感じます。

「指導から支援への転換」、「医療モデルから社会モデルへの移行」といった時代の変化の中で、教えられてきた価値観が否定され、そのたびに自問自答を繰り返しながら考え続けてきました。そのような経験を経て、変わらぬものはないということをつくづく感じるようになり、「ならば福祉のあり方を変える側になりたい」と考えるようになったのです。

「福祉を変えていく」と一言で言いましたが、それは容易なことではありません。若い頃は自分の力不足を痛感する日々でした。先駆的な取り組みを行う先輩方の話を聞き、実践を見学し、これまで自分にはなかった視点や経験に数多く触れることができました。行政の方とも積極的

に話をするようになりました。自分なりに意見が言えたり、また影響力を感じるようになるまでに多くの時間と努力が必要でした。

私のライフワークは人材育成です。施設長時代には、「成長しようとしめない者が、利用者や周囲に変化を求めてはならない」と職員に話していました。

私たちの仕事は、利用者が環境に馴染み、その持てる力を最大限に発揮できるよう支援することです。利用者が輝くためには、それを支える職員の支援力が重要です。職員自身がスキルを向上させ、支援していく必要があります。そして、そのための人を育てるシステムを考えるのが、私たちの役割だと考えています。

一羊会の理念の柱は「利用者主体」です。利用者が主人公であります。支援する職員もまた主人公であってほしいと願っています。私は表に立つタイプではありません。常に「黒子」として支える立場を目指してきました。理事長になった今でも、その思いに変わりはありません。これからも一羊会を利用する方々や働く方々すべてが、より良い環境で成長できるよう尽力してまいります。

社会が疲弊する中で、まず切り捨てられるのは弱者です。弱者に寄り添うことこそが福祉の本質であるならば、私たちはその力をより強固にしていかなければなりません。これからも一羊会と共に成長を続けてまいりますので、皆様の変わらぬご支援を賜れば幸いです。

理事長退任しました

三浦 昇



大変暑い日が続いてますが、皆様健康管理が大変な中、引き続き一羊会へのご支援いただきありがとうございます。さて、学生ボランティアの時代から「西宮市手をつなぐ親の会」(現在の『一般社団法人西宮市手をつなぐ育成会』※以後親の会と称します)の活動に参加させていただきました。「一羊会」設立、「一羊園」開設への取り組みから始まり、「西宮市立西宮すずかけ共同作業所」の運営に、初代所長の杉本さん、親の会の役員さん達と取り組ませてもらったのが社会人としてのスタートでした。当時は今のように多くの事業が展開されている状況ではなく、苦難の時代でした。その状態から前進するため、親の会の皆さん、ボランティア職員として就労してくれた仲間達のご尽力は、今でもありがたく、共同で取り組めた感動が残っています。本人・親・職員が三位一体となって取り組み、後援会、ボランティア等の応援があり、行政が資金繰りのペースづくりをしてくれる。この体制の中で知的障害分野に限らず西宮の障害福祉は大きく進展してきたものと解釈しています。

あれから間もなく50年を迎えようとしています。これまでの取り組みとして「一羊園」建設後、作業所やグループホーム等の開設を積極的に進め、一定の成果は上げてきました。ただ、制度的な問題や人材確保がさらに難しくなっており、なかなか前進できず、本人たちの暮らしの先行きや親たちの不安も残しながらの厳しい現状です。制度的改革に向けて関係団体が昔のように力を合わせて国の制度改善運動が必要です。

私は、2014年に理事長に就任し、この6月末で退任しましたが、さよならの感覚はありません。一羊会はこれからも運動体としての指針を忘れず、親たちと協力しながら取り組んでいってほしいと願います。引き続き皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

私は、昔のボランティア感覚でみんなと付き合っていきたいと思っていますので、これからもよろしくお付き合いをお願いしまーす。

この度、任期満了に伴う一羊会の役員改選が行われました。新たな理事長には、古川勝が就任いたしました。また、新任理事として、一般社団法人西宮市手をつなぐ育成会会長の梅谷正子氏と、一羊会部長の中村喜弘が選任されました。

そして、新しく評議員として、社会福祉法人西宮市社会福祉協議会の武山正樹氏、社会福祉法人いたみ杉の子の村山俊宇氏、一般社団法人西宮市手をつなぐ育成会副会長の宮脇葉子氏と山口ひとみ氏をお迎えしました。

これまで長きにわたり、一羊会を支えてくださった森田前理事、本田前理事、篠原前評議員、泉前評議員、今井前評議員の皆様には、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

新しい役員・評議員一同、力を合わせて法人の運営に努めてまいります。今後とも、変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

社会福祉法人一羊会 評議員名簿

任期 自 2025年6月20日 定時評議員会最終後
至 2029年6月 定時評議員会最終時
(2028年度決算にかかる評議員会最終時)

氏名 (50音順)	経歴・現職
太田 博	㈱GEOソリューションズ代表取締役会長
岡崎 公典	元神戸教育短期大学附属 八尾ソレイユ認定こども園 園長
武山 正樹	(社福)西宮市社会福祉協議会 事務局次長
日高 昭夫	福祉ネット北六甲事務局長 北六甲台地区社協会長
宮脇 葉子	(一社)西宮市手をつなぐ育成会 副会長
村山 俊宇	(社福)いたみ杉の子 事業部 部長
諸富 真一	大喜建設㈱取締役社長
山口ひとみ	(一社)西宮市手をつなぐ育成会 副会長

社会福祉法人一羊会 役員名簿

任期 自 2025年6月20日
至 2027年定時評議員会最終時

役名	氏名	経歴・現職
理事長	古川 勝	(社福)一羊会 理事長
副理事長	市原 博	(社福)一羊会 副理事長 元 西宮市社会福祉事業団 事務局長
理事	三浦 昇	(社福)一羊会 前理事長
	半羽利美佳	武庫川女子大学 心理・社会福祉学部 社会福祉学科 教授
	梅谷 正子	(一社)西宮市手をつなぐ育成会 会長
	中村 喜弘	(社福)一羊会 部長
	山岡 賢治	(社福)一羊会一羊園 管理者
監事	三宅 由佳	税理士
	柏原 敏昭	(社福)福成会 地域生活支援部長

あとリエ すずかけ 新聞

第33便 2025.9
撮影／編集：神田 浩平



あとリエすずかけ夏の雑貨展

6月の下旬、関西では観測史上最も早く梅雨が明け、長い夏がはじまりました。暑さが本格化する前にと近年前倒しで開催しているあとリエすずかけ夏の雑貨展ですが、開催した7月4日～8日はもう手に負えない暑さの毎日。そんな中でしたが、たくさんの方がお越しくださって、連日大盛況でした。お越しくださった皆さま、本当にありがとうございました。

期間中には、利用者さんも来場してくださって、お茶をしたり、商品を眺めたり、会場で流していた映像を観たりと、リラックスした時間を過ごしてくれました。



1日だけCafe

7月5日は『Blank珈琲焙煎所』さんが来てくれて1日だけのCafeを開きました。実は7月でコーヒーの販売を休止されることになったBlankさん。坂原さんの淹れる美味しいコーヒーを飲むことができる貴重な機会となりました。



今年もチャリT

昨年に引き続き、売上の一部を能登半島地震の義援金として寄附するTシャツを販売しました。今年のカラーは決めのグリーン。

舛次崇さんの絵『植木鉢の植物』と、仁田葉月さんの文字がプリントされています。



すずかけ絵画クラブより



『東京駅』
尼崎昌弘

2023年4月から2年以上かけて、尼崎さんが取り組んできた作品が完成しました。駅舎の質感を出すため、絵の具を重ね塗りした後に、削って線を加えていく手法で、細かく描き込みました。空は尼崎さんらしく、ドット模様で描かれています。完成後は、「東京駅を描くアイデアをくれた作業所職員にまず見せたい」と嬉しそうに語る尼崎さんでした。



『ナイルの王墓』
森本拓己

古代エジプトの王「パシエドウ」の墓の壁画をモチーフとし、約1年間かけて完成した森本さんの作品です。巨大な樹木の傍で祈りを捧げる人が描かれています。余白に敷き詰められている言葉は、森本さんお気に入りの本からの引用です。文字の間を細かく埋めているのは、とても小さい無数の「の」です。余白を埋めやすいですね。

大阪協栄信用組合のエコバッグ

大阪協栄信用組合・神戸営業部さんの新築オープン記念のノベルティグッズとして配布中のエコバッグに伊東鉄也さんの絵が採用されました。エコバッグは全3種類で、兵庫県と大阪府出身の作家さん3名が選ばれているそうです。

エコバッグにプリントされているのは、過去に伊東さんが、木片に直接描いた絵。スキャンしたデータの一部を切り取って使われています。



2024
年度

一羊会事業報告

年度末を迎えるにあたり、当初予算に比べて経営状況は改善しました。しかし、安定した運営に向けては、依然として課題が残っています。

人材の定着については、キャリアパスや人事考課に関して大きな課題があることを確認しました。そのため、組織体制を含めた人事制度の見直しを、2025年度の重要な目標としました。また、職員の生活を考慮し、時代に合った賃金体系の見直しも次年度の課題として取り組みます。

利用者支援についても、多くの課題を認識した一年となりました。特に人権について深く考える機会が増えたと感じています。2025年度は、大きな方向性を一つひとつ確認しながら、次のステップに向けた準備を進めていく一年とします。

財務・組織体制

1 経営の強化

(1) 経営改善

年度初めに報酬改定の勉強会を実施し、その後も管理者会議などを通じて情報共有を継続しました。その結果、障害福祉サービス収入の増収につなげることができました。

(2) 経営力の向上

全課長が会計初級研修に参加し、会計に関する理解を深めました。また、マネジメント研修にも積極的に参加し、経営力の向上に努めました。

(3) 収益事業

すずかけ作業所の屋上に、通信会社のアンテナを設置しました。

また、今後拡大を予定していた外部向けの研修やコンサルティング事業については、公益事業の枠組みに変更し、実施しました。その結果、当初の予算を超える規模で事業を展開することができました。

(4) ファンドレイジング

一羊会後援会の理事を1名から2名に増員しました。さらに、クレジット決済による寄付の受け入れについて、手続きの支援を行いました。

(5) 組織体制の強化

2025年度からの再編を目指し、議論を開始しました。しかし、課題の整理の段階で、年度内にまとめることが難しいと判断したため、引き続き整理と検討を進めまし

た。そして、2026年度からの実施に向けてスケジュールを見直し、確実な実現を図るためにコンサルティングの導入を決定しました。

(6) 生活支援体制強化

生活支援の人材不足が続いているため、一部の職員が日中業務に加え、生活施設での勤務も行いました。

(7) 危機管理

法令順守については西宮市法人指導課への確認も丁寧に行いながら進めてきました。

DBSについては法律を順守する形で対応を進めました。

災害対策等法律で定められた研修や訓練は計画に基づき実施しました。

2025年度のBCP義務化に向けては策定を終え、2025年度の運用に向け準備を進めました。

災害対策、感染症対策のBCPの周知、訓練等実施していきます。

人材マネジメント

2 人材育成・定着

(1) 人材確保

外国人材の採用については、一羊園とジョイントホーム事業課にて、それぞれ2名ずつ採用しました。いずれの方も真面目に業務に取り組んでいます。一羊園では、2025年度にさらに4名の採用を進めており、今後は外国人材の定着に向けた取り組みを強化していく予定です。

採用活動全般に関しては、インターンシップや説明会、見学会をすべて個別対応で実施しました。就職活動中の方とのコミュニケーションを大切にしながら採用活動を進めたことで、新卒正規職員4名、中途正規職員8名の採用につなげることができました。

情報発信に関しては、法人HP、人材採用サイト、SNSを活用し、広く発信を行いました。求職者からは、HPが見やすいと評価されることがありました。

(2) 人材育成と定着

組織再編とキャリアパス、人事考課制度の見直しについては、組織体制の検討を進める中でさまざまな課題が浮かび上がり、2024年度内での完了が困難となりました。そのため、2025年度中の完成を目指し、経営コンサル会

社の活用も含めて進めていく予定です。

また、年間公休数については、2025年度より110日と増やしました。

3 専門性の向上

(1) 法人内での支援のコンサルテーションの導入

サービス管理責任者会議内にサービス向上分科会を設置し、その中で法人内コンサルテーションの導入と、自閉症支援の専門家からの助言を組み合わせる体制を構築する方向に進めました。

また、利用者へのアセスメントツール（評価キット）の活用については、対象となる事業所および利用者の選定まで完了しましたが、実際のアセスメント実施には至りませんでした。

(2) 強度行動障害支援者養成研修の受講

県が主催する強度行動障害支援者養成研修に申し込み、受講しました。また、代替研修となる行動援護従事者養成研修を法人が主催し、受講枠の拡大を図りました。

(3) 法人内研修その他、支援に必要な研修の実施

制度上義務付けられた研修は、概ね計画通りに実施しました。一方で、専門性の向上については依然として課題が多く、今後も研修内容の検討を続けていく予定です。

事業展開・利用者支援

4 事業所の機能分化に向けた検討

通所事業所の管理者が集まり、毎月、事業所の機能分化について議論を行いました。

就労継続支援B型については、利用者ニーズを検討した結果、2025年4月より菓子事業を上甲子園すずかけ作業所に統合することとなりました。

また、将来的な機能分化に向け、すずかけ労働センターと上甲子園すずかけ作業所について、現利用者の多様化するニーズや地域のニーズを踏まえ、「働く」ニーズに広く応えられるよう、課題の抽出と整理を進めていく方針を決定しました。

5 児童・成人利用者のニーズに応じたサービスの充実

(1) 成人

利用者の状態に応じた作業や日中活動の提供について、機能分化会議で議論を重ね、方針を進めることとなりました。この取り組みは他の事業やニーズとも関連しており、今後も課題を深く検討しながら、より適正な工賃についての議論も進めていく予定です。

障害者の芸術活動に取り組んでいるあとりえすずかけについては、事業の抱える課題について、部長会議、管

理者会議で数回意見交換をしました。2025年度も引き続き検討を重ね、事業の発展に向けて検討していきます。

(2) 児童

児童事業はカノンに一本化し、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、障害児等療育支援事業を進めました。

保育所等訪問支援は計画通り6月に開始しましたが、職員の体調不良により、訪問員1名での運営となりました。契約数は16件で、実施件数は月平均15.4件（最多23件、最少5件）でした。訪問員2名体制の目標40件に対し、実質1名の目標20件を達成した月は10か月中2か月でした。現在、10名の契約待ちが発生しています。訪問先や家族から概ね肯定的な評価を受けましたが、1件訪問先より事業に対する疑念を抱かれるケースがあり、丁寧な説明と連携を心がけました。

障害児等療育支援事業の西宮市委託分では、訪問件数が前年の7件から52件に増加し、外来件数も7件から22件となりました。施設支援件数は前年112件（研修会50件）から109件（研修会28件）へと推移しました。上半期では訪問件数が約8倍、施設支援が約1.6倍に増加しました。これは保育所等訪問支援との兼務により、訪問開始前の2か月間で多く実施できたためです。兵庫県と尼崎市の委託事業は縮小傾向にあり、兵庫県は予算比15%ずつ減少（2024年度施設支援13件）、尼崎市は施設支援20件が上限で固定されていますが、それぞれ契約分を実施できました。

6 利用者の加齢による状態変化と重度化の対応

各事業所で情報収集を行いながら支援を進める中で、助成金を活用し、すずかけ作業所に移乗介護ロボット「Hug」を導入しました。また、高齢者施設との交流の機会を設け、見学を実施しました。高齢化が進む中、法人内外の医療・介護・高齢者施設・専門職と連携しながら、利用者の状態に応じた支援の提供を目指していきます。

7 生活施設の住環境整備

(1) 施設入所

多様化するニーズに対応するため、1月に「ユニット化」を実施し、事業所内で居室の入れ替えを行いました。

これにより、生活場面を4区画に分け、行動障害のある方や高齢化により介護が必要な方に対して、従来よりも障害特性に応じた支援が行いやすい環境を整えました。

生活場面を分けることで、行動障害のある方や高齢化により介護が必要な方に対し、より障害特性に応じた支援を行いやすい環境を整えました。

なお、ソフト面（支援内容）については、今後も引き続き検討を進めていきます。

(2) 共同生活援助

利用者の状態に応じた生活環境の整備と安定した支援

の継続に向けて、女性のホームは上野町ホームと元浜町ホームを軸に再編し、老朽化した賃貸物件を廃止しました。

男性ホームについても再編統合を目標に、土地の確保や統合後のシミュレーションなどの準備を進めました。2025年度は引き続き、男性ホームの再編統合に取り組んでいきます。

8 利用者の権利擁護と意思決定支援の充実

虐待防止対策の強化に向けてプロジェクトを立ち上げ、具体的な取り組みを策定しました。一部を実施し、主な施策については2026年に実施予定です。

また、適切な意思決定支援を進めるため、意思決定支援に関する研修を実施するとともに、PECSなどのコミュニケーション能力向上プログラムの研修を行いました。

地域連携

9 地域連携・貢献の活性化

地域イベントに参加しました。

- 西宮ふれあいネットワークイベント
- 西宮市民祭り

事業所主催のイベントを開催し地域との交流を進めました。

- すずかけイチバ上甲子園(上甲子園すずかけ作業所)

あとりえ雑貨展を開催し、障害者アートの理解に取り組みました。

- 夏の雑貨展
- 秋の市
- すずかけの間

また、ほっとかへんネットの運営に協力しました。

社会福祉士実習等の学生受け入れを積極的に行い、15名の実績がありました。外部向け研修も開催し、意思決定支援や強度行動障害に関する研修には、他法人からの参加も多く見られました。

マスタープラン「安心と笑顔」をテーマに実践発表会を行いました。オンライン開催で三つの事業所から発表を行い、約80名が視聴して下さいました。

2024年度は西宮市で特別な動きがなく、取り組みを実施しませんでした。2025年度には市制100周年イベントの企画が予定されています。地域共生をテーマに、ほっとかへんネットの活動を通じて参加予定です。

2024年度 法人単位資金収支計算書

自 2024年4月1日 至 2025年3月31日

(単位：円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)	備考
事業活動による収支	収入				
	就労支援事業収入	126,000,000	128,795,318	- 2,795,318	
	障害福祉サービス等事業収入	1,328,842,000	1,332,365,843	- 3,523,843	
	経常経費寄附金収入	2,995,000	3,937,636	- 942,636	
	受取利息配当金収入	27,000	33,554	- 6,554	
	その他の収入	9,470,000	9,636,582	- 166,582	
	事業活動収入計 (1)	1,467,334,000	1,474,768,933	- 7,434,933	
事業活動による支出	支出				
	人件費支出	957,652,000	941,725,613	15,926,387	
	事業費支出	150,531,000	146,197,184	4,333,816	
	事務費支出	175,629,000	166,429,262	9,199,738	
	就労支援事業支出	125,405,000	127,556,444	- 2,151,444	
	支払利息支出	516,000	509,871	6,129	
	その他の支出	4,280,000	4,125,117	154,883	
事業活動支出計 (2)	1,414,013,000	1,386,543,491	27,469,509		
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	53,321,000	88,225,442	- 34,904,442		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	870,000	870,000	0	
	固定資産売却収入	60,460,000	60,454,578	5,422	
	施設整備等収入計 (4)	61,330,000	61,324,578	5,422	
	支出				
設備資金借入金元金償還支出	6,072,000	6,072,000	0		
固定資産取得支出	72,313,000	8,540,319	63,772,681		
固定資産除却・廃棄支出	435,000	0	0		
ファイナンスリース債務の返済支出	3,717,000	3,366,187	350,813		
施設整備等支出計 (5)	82,537,000	17,978,506	64,123,494		
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	- 21,207,000	43,346,072	- 64,118,072		
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	0	0	0	
	その他の活動による収入	4,653,000	4,460,799	192,201	
	その他の活動収入計 (7)	4,653,000	4,460,799	192,201	
支出					
積立資産支出	11,290,000	11,444,702	- 154,702		
その他の活動による支出	0	0	0		
その他の活動支出計 (8)	11,290,000	11,444,702	- 154,702		
その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	- 6,637,000	- 6,983,903	346,903		
予備費支出 (10)	6,700,000	-	6,619,000	注釈参照	
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	18,858,000	124,587,611	- 105,729,611		
前期末支払資金残高 (12)	297,672,183	297,672,183	0		
当期末支払資金残高 (11) + (12)	316,530,183	422,259,794	- 105,729,611		

注) 予備費は、56,000円を固定資産取得支出(器具及び備品取得支出)に、その他の支出(利用者等外給食費支出)に25,000円を流用

2024年度 法人単位事業活動計算書

自 2024年4月1日 至 2025年3月31日

(単位:円)

Table with 4 columns: 勘定科目, 当年度決算(A), 前年度決算(B), 増減(A)-(B). Rows include 収益, 費用, 経常増減差額, 特別増減差額, 当期活動増減差額, 繰越活動増減差額.

2024年度 法人単位貸借対照表

2025年3月31日現在

(単位:円)

Table with 8 columns: 科目, 当年度末, 前年度末, 増減, 科目, 当年度末, 前年度末, 増減. Rows include 流動資産, 固定資産, 流動負債, 固定負債, 純資産.

すずかけ労働センターのレクリエーション



7月にすずかけ労働センターのレクリエーションが行われました。利用者さん達の会議で内容を話し合い、今年は通天閣に出かけるグループ、フルーツフラワーパークでBBQをするグループ、カラオケに行くグループと3つに分かれてそれぞれのお出かけを楽しみました。今回、通天閣とBBQのグループに同行してきましたのでその様子をお届けします。



めんたいパークに行った後、フルーツフラワーパークに向かってBBQを楽しみ、園内を散策。ゴーカート乗り場で、職員を誘ってカートに乗る利用者さんもいました。のどかな自然の風景を楽しみながら、1周10分ぐらいのコースを疾走されました。



ビリケンさんの人形焼きを買った佐藤充さん



阪神電車とJR環状線を使い通天閣までやってきた皆さん。3連休の初日ということで、観光客で賑わう新世界を歩きました。通天閣の展望台には、予約客が多く、のぼることが出来ませんでしたが、皆さんお土産やスイーツを買ってそれぞれ楽しんでいました。お昼は2グループに分かれてランチ。海鮮居酒屋に入ったグループは、漁船を模した席に通され、急に海辺の町にやってきたような気分になりました。皆さん好きな料理を注文し、ソフトドリンクやビールでリラックスした時間を過ごされていました。



一羊会後援会からご報告

2025年度総会を開催しました

会長 太田 博

いつも後援会活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。6月23日、一羊会後援会総会を開催いたしました。当日は開催前に強い雨が降り、足元の悪いなか27名の会員の方にご出席いただき、議案についてすべて承認されました。ご出席いただいたみなさま、ありがとうございました。

今年では会場にて寄附を募り、返礼品としてクッキーや石けん、マグネットなど事業所で作っている自主製品をお渡ししました。返礼品代を差し引き、寄附合計は14,350円となりました。重ねて御礼申し上げます。

議案終了後、一羊会の職員から事業展開について報告がありました。以下、総会の概要報告を致します。

2024年度事業報告概要

- ①一羊会ホームページにて、後援会ならびに事業所・法人へ支援を募る「一羊会サポーターページ」を開設しました。また、クレジット決済を導入し、ホームページや広報誌にリンク・QRコードを掲載し、より広く支援を募る体制を整えました。会費・寄付は個人・団体を合わせて4件の新規入会があり、総額は1,357,888円となりました。
- ②事業活動はカレンダー販売と募金箱の設置において、カレンダー販売は昨年同様の収益となりました。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。
- ③事務局の体制は変わっておりませんが、必要に応じて一羊会の職員に協力を得ながら活動しています。

2025年度事業計画概要

- ①会員拡充への取り組み
会員の拡充ならびに入会された方に次年度も継続していただけるよう、引き続きSNSや広報誌を活用し後援会活動のPRを行います。
- ②事業活動への取り組み
今年度もカレンダー販売と募金箱設置に取り組んでまいります。募金箱は新たに設置していただける企業や関係団体を検討し依頼するとともに、事業所での販売活動等のイベント時に設置して活用していきます。また、ほかの販売事業についても検討していきます。



2025年度 一羊会後援会役員名簿 (任期：2025年6月23日～2027年 総会開催時迄) (敬称略)

役職名	氏名	現在の役職等
会長	太田 博	株式会社GEOソリューションズ 会長
副会長	三浦 昇	社会福祉法人一羊会 前理事長
副会長	梅谷 正子	一般社団法人西宮市手をつなぐ育成会 会長
理事	北本 宝	中澤総業株式会社 会長
(新)理事	朝野 亘	一般社団法人西宮青年会議所 第75代理事長
理事	宮脇 葉子	一般社団法人西宮市手をつなぐ育成会 副会長
理事	古川 勝	社会福祉法人一羊会 理事部長
監事	長谷 隆行	長谷隆行公認会計士・税理士事務所 公認会計士・税理士
監事	山口 朱美	一般社団法人西宮市手をつなぐ育成会 副会長

2024年度収支決算

貸借対照表

2025年3月31日現在

単位：円

借方		貸方		
科目	金額	科目	金額	
普通預金 三井住友銀行	820,769	未払金	一羊会へ寄付	1,500,000
ゆうちょ銀行	141,866			
ゆうちょ銀行 振替口座	845,963			
現金	72,714			
未収金	110,725	当期繰越金	492,037	
資産合計	1,992,037	負債・純財産合計	1,992,037	

収支計算書

自2024年4月1日 至2025年3月31日

収入の部 単位：円

科目	予算	決算	増減	内訳
会費寄付金収入	1,700,000	1,357,888	△342,112	
会費	900,000	740,350	△159,650	
寄付金	800,000	617,538	△182,462	
事業収入	550,000	442,265	△107,735	
募金事業	100,000	58,740	△41,260	募金箱
販売事業	450,000	383,525	△66,475	カレンダー販売
雑収入	10	432	422	受取利息他
前年度繰越金	579,242	579,242	0	
収入合計	2,829,252	2,379,827	△449,425	

支出の部 単位：円

科目	予算	決算	増減	内訳
事務費	143,000	116,551	△26,449	
通信費	50,000	38,059	△11,941	郵送料、 切手代、 年賀状代
振替手数料	30,000	28,488	△1,512	会費等振替手数料
印刷費	50,000	35,970	△14,030	振替用紙・ 受領証印刷費
会議費	5,000	4,600	△400	会議室使用料
消耗品費	2,000	1,404	△596	お茶等
雑費	6,000	8,030	2,030	振込手数料、 残高証明他
事業活動経費	300,000	271,239	△28,761	カレンダー仕入代金 等
寄付金支出	1,700,000	1,500,000	△200,000	一羊会へ寄付
小計	2,143,000	1,887,790	△255,210	
当期収支差額	686,252	492,037	△194,215	
支出合計	2,829,252	2,379,827	△449,425	

2025年度 予算

自2025年4月1日 至2026年3月31日

収入の部

単位：円

科目	前年度決算額	本年度予算額	増減	内訳
会費・寄付金収入	1,357,888	1,500,000	142,112	
会費	740,350	800,000	59,650	
寄付金	617,538	700,000	82,462	
事業収入	442,265	470,000	27,735	
募金事業	58,740	70,000	11,260	募金箱収入
販売事業	383,525	400,000	16,475	カレンダー販売収入
雑収入	432	500	68	預金利息等
前年度繰越金	579,242	492,037	△87,205	
収入合計	2,379,827	2,462,537	82,710	

支出の部

単位：円

科目	前年度決算額	本年度予算額	増減	内訳
事務費支出	116,551	120,000	3,449	
通信費	38,059	50,000	11,941	郵送料、 切手代、 年賀状代
振替手数料	28,488	30,000	1,512	会費等振替手数料
印刷費	35,970	20,000	△15,970	振替用紙印刷費※
会議費	4,600	5,000	400	会議室使用料
消耗品費	1,404	5,000	3,596	お茶等
雑費	8,030	10,000	1,970	振込手数料、 残高証明等
事業活動経費	271,239	300,000	28,761	カレンダー仕入代金、 募金活動経費等
寄付金支出	1,500,000	1,700,000	200,000	一羊会へ寄付 (建設積立金)
小計	1,887,790	2,120,000	232,210	
当期収支差額	492,037	342,537	△149,500	
支出合計	2,379,827	2,462,537	82,710	

※支出の部印刷費について、前年度は受領証の印刷があり上記金額になりましたが、本年度は印刷の予定がないため予算は減額しています。

一羊会から事業展開の報告

一羊会の松枝部長より、事業経営の改善や人材確保・育成などマスタープラン2年目の評価や、権利擁護、虐待防止についての具体的な取り組みの報告がありました。



法人・事業所御寄付の報告(敬称略・順不同) (2025年4月1日~2025年6月30日)

*法人

三浦昇 松枝千尋(2件) 半羽利美佳(2件) 匿名1件 6件

*すずかけ労働センター

西宮グリーン(株) 本田洋子 2件

*武庫川すずかけ作業所

平野弘子(3件) 3件

*ジョイント

匿名5名 5件

*児童通所支援

古川勝(2件) 2件

*上甲子園すずかけ作業所

上甲子園すずかけ作業所保護者会 1件

いつもご協力・ご支援ありがとうございます!!

2025年度一羊会後援会会費(敬称略・順不同) (2025年4月1日~2025年7月31日までのご入金分を掲載)

*法人・団体の部

大関エステート(株) (株)ケーゾークレセント(2口) 中澤総業(株) (一社)西宮市薬剤師会 西宮市民踊協会 平田建築設計(株) 三日月建設(株) すずかけ作業所保護者会(5口) すずかけ第2作業所保護者会(5口) 9件

*個人の部

天野朗代 伊藤節子 岩井久美子 岩本健熙 魚田勇次 大西勝代 大前はるよ 小川加代子 奥嶋育子 笠井喜世志 柏原敏昭 北川泰寿 関本弘子 千翔有峰 高谷知子 瀧川秀樹 田中京子 田中美英子 土橋慎一 中川寛子 長谷隆行 早川典江 日高昭夫 堀江史子 本田洋子 前川拓郎(5口) 松枝千尋 三上展 三原まゆみ 宮脇葉子 森野和雄 山本加津美 横山潤・正代 吉田幾久世 吉野千栄子 無記名 武庫川すずかけ作業所保護者会(37口) 37件

2025年度一羊会後援会御寄付(敬称略・順不同) (2025年4月1日~2025年7月31日までのご入金分を掲載)

*法人・団体の部

西宮市民踊協会 (株)ビー・プランニング 法心寺 (税)丸岡&パートナーズ 4件

*個人の部

飯森隆年 井上尚子 岩井久美子 岩本健熙 魚田勇次 大目修平 小川加代子 柏原敏昭 堺執 坂戸孝行 副島宏克 高谷知子 中川寛子 長谷隆行 早川典江 本田洋子 前川拓郎 万竝建二 三原まゆみ 宮下哲 宮脇葉子 森野和雄 山本加津美 吉田幾久世 匿名希望 25件



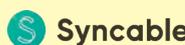
口座名義 一羊会後援会

銀行 三井住友銀行 西宮支店 普通 3007061

郵便振替口座 01190-8-66322

シンカブル

(クレジットカード・銀行振込決済サイト)



※受領証については、払込取扱票の振替払込請求書兼受領書をもって後援会の受領証とさせていただきます。

別途受領証が必要な場合はお知らせください。

※現金振込時の手数料について、振込手数料は後援会負担としておりますが、現金でお支払いの場合は別途110円の手数料がかかります。誠に恐縮ではございますが、何卒よろしく願いいたします。(ゆうちょ銀行の通帳やカードでのお支払い時には手数料はかかりません)